



Super Science High School News

1年「SP科学」

○「ゆっくり、正確に着地するパラシュート」を製作しよう！

紙、糸、ワッシャーでパラシュートを作り、着地地点の正確さと滞空時間を競いました。グループでどのような形状・大きさのものがいいか予想し、オリジナルのパラシュートを作製しました。面白い形をしたものが多くありました。実際に投下してみると、思ったような落下のしかたでないものもありましたが、意図したとおりにまっすぐ、ゆっくりと落下している素晴らしい作品もありました。最も滞空時間が長かったのは7組10班の5"36秒、落下地点の正確さのトップは1組3班と7組9班のエリア9でした。総合優勝は2組4班でした。

冨先生による振り返り講座も行いました。どのように考えれば良かったのか、空気抵抗による影響について解説していただきました。



○ 校長講座第2弾「科学的とはどういうこと」

村田校長先生に特別講座を行っていただきました。内容は、自然科学領域における「知るための方法」についてでした。科学的推論に用いられる演繹や帰納について、演習を通して理解を深めるとともに、科学的なものとは非科学的なものとの区別について考察しました。



科学の甲子園茨城県大会に出場

11/27(土)、つくば国際会議場で行われた「科学の甲子園茨城県大会」に代表12名が出場しました。科学の甲子園は、高等学校等の生徒チームを対象として、理科・数学・情報における複数分野の競技を行う取り組みで、全国の科学好きな高校生が集い、競い合う場です。今回はその茨城県予選でした。今年は新型コロナ対策の為に実技もなく、チーム6人が横並びに座るようになり、例年に比べて相談がしづらい環境ではありましたが、協力して解くという競技を楽しめたようです。